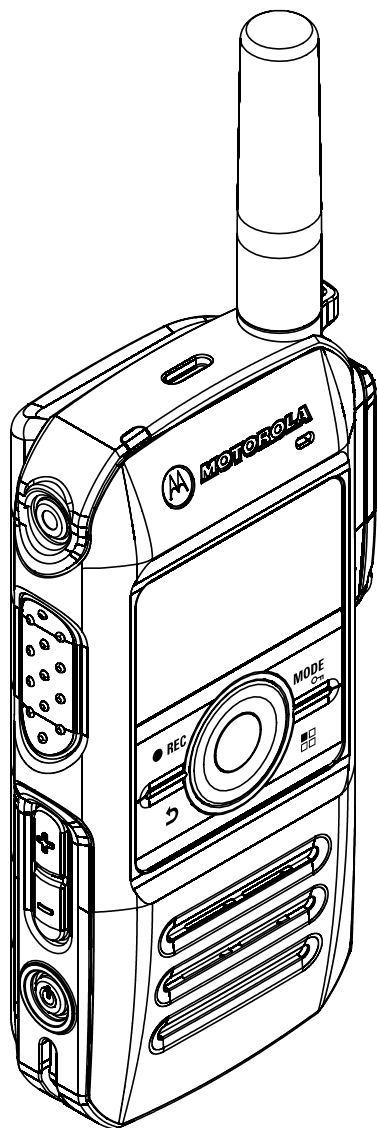




MOTOROLA

デジタル簡易業務無線 MiT7000 (免許局)



無線局種別コード：3B
4値FSK変調

取扱説明書

本書には、本機を安全にお使いいただくための操作方法、高周波エネルギーに関する注意、適用規格への準拠および関係法令の順守についての重要な情報が含まれています。ご使用前に必ずお読みください。

モトローラ・ソリューションズ株式会社

目次

はじめに.....	4
安全上のご注意.....	5
防水性について.....	10
正しくご使用いただくために.....	11
通信方式に関して.....	12
構成品.....	12
リチウムイオン電池パック（アクセサリ）のリサイクルについて.....	12
特長.....	13
各部の名前と機能.....	14
本体（MIT7000）.....	14
フルドットディスプレイ.....	16
LED インジケータの動作概要.....	16
アンテナの取り付け.....	17
ホルスターとベルトクリップの取り付け.....	17
ハンドストラップの取り付け.....	17
電池パックの取り付け / 取り外し.....	18
リチウムイオン電池パックを取り付ける.....	18
リチウムイオン電池パックを取り外す.....	18
電池の消耗について.....	18
リチウムイオン電池パックの充電方法.....	19
通信について.....	20
UC 通信.....	20
個別通信.....	21
通信の基本操作.....	22
個別通信設定と待ち受け画面について.....	27
その他の基本スイッチ / ボタン操作.....	27
REC（録音）ボタン.....	27
MODE / キーロックボタン.....	28
リターン（戻る）ボタン（1つ前の状態に戻す）.....	28
ナビゲーションキー （チャンネル設定 / 呼び出し先選択 / ボイスチャンネルアナウンス / 拡張機能表示）.....	29
メニューボタン（簡易リスト表示 / 送受信メニュー表示）.....	30
プログラマブルボタン（クイックアンサーボタン / 緊急ボタン）.....	31
簡易リスト.....	32
送受信メニュー.....	40
拡張機能（コールモード）.....	44
拡張機能（セットモード）.....	54
アクセサリの取り付け.....	67
外部マイクの感度切り替え方法.....	67
故障かな?と思う前に.....	68
定格.....	69
索引.....	70

デジタル簡易無線機の保証と責任

I. 保証対象及び保証期間：

本デジタル簡易無線機器は、モトローラの品質基準の基にモトローラ・ソリューションズ株式会社（以下「当社」といいます）で製造されたものです。

当社は、正常な使用状態で下記のデジタル簡易無線機器（以下「製品」といいます）の材料上又は製造上の欠陥に対し、ご購入日より以下に示す保証期間内の保証を行います。

無線機本体..... 2年間

当社は本保証規定に従い、保証期間内は無料で製品の修理（純正部品を用いて）、交換を致します。本体の保証期間に関しましては、お客様がご購入になった製品の保証期間で算定されます。交換した製品または部品は当社の所有となります。

本保証書は製品ご購入者に限り有効であり、第三者に譲渡されるものではありません。

当社役員による署名付きの書面での同意がある場合をのぞき、本保証書への追加及び変更に対して、当社はいかなる義務及び責任を負いません。当社と製品ご購入者の間で個別の同意がない限り、当社は製品の取り付け、メンテナンス又はサービスの保証は行いません。当社は、製品に装着又は接続して使用される当社及びモトローラ供給以外のアクセサリーを使用した製品の運用に対し、いかなる責任も負いません。

通信システムで本製品が使用される場合、当社は、そのシステム全体、サービスエリア、運用等をまとめて本保証規定で保証するものではありません。

II. 保証規定：

本保証書は、製品に対する当社の責任と保証を定めたもので、一切の保証は保証期間内に限定されます。当社は当該製品の使用もしくは不使用に起因するご購入者の被る逸失利益、業務の中断、機会の損失やこれらに類する損害、または二次的損害等についての責任を負いません。

III. 以下は保証対象外となります：

- A) 製品を正常かつ通常の使用方法でお取り扱いにならないことよって生じた故障及び損傷。
- B) 誤った、又は乱暴なお取り扱い、事故、腐食、火災、水害、又は放置によって生じた故障及び傷。
- C) 誤った、又は認可されていないテスト、使用、メンテナンス、サービス、修理、取り付け、変更、修正、又は調整によって生じた故障及び損傷。

- D) 材料上又は製作上の欠陥に直接起因する以外の理由で生じたアンテナの破損及び損傷。
- E) 説明書に記載の使用方法に反するお取り扱いを受けた製品。
- F) 製品の性能に支障をきたす、又は正常な保証検査及び補償請求確認のための製品テストを妨げるような、認可されていない改造、加工、分解、純正でない部品又は電池の使用と修理（当社が認可していない装置を使った製品に対する追加を含む）がなされた製品。
- G) 製造番号が取り除かれた、又は製造番号が判読できない製品。
- H) 利用者の修理が認められていない部品又はモジュールに付いたシールが外れている製品。
- I) 修理品発送に対する送料。
- J) 製品のソフトウェア / ファームウェアに不法又は無許可の変更が加えられている製品。
- K) 製品の運用に影響を与えない、製品の表面に付いた傷、又は外観上の損傷。
- L) 正常なご使用における自然消耗、摩耗。
- M) 当社でプログラムされていないメモリーモジュール。
- N) 保証期間を過ぎた保証請求。

IV. 特許及びソフトウェア規定：

当社供給以外のソフトウェア、装置一式又はその一部を備えた製品又は部品の組み合わせに基づいた特許権の侵害請求に関して一切の責任を負いません。また、当社は製品に装着又は接続する、モトローラ供給以外の付属品又はソフトウェアの使用に対していかなる責任も負いません。上記は、製品又は部品に関し、特許権の侵害に関する当社の全責任を提示したものです。法律により、著作権で保護された当社のソフトウェアのコピー制作及びコピー流通の占有権など、当社の特定の占有権は保護されています。当社のソフトウェアは販売時に組み込まれている製品内でのみ使用されるものであり、当該製品の当該ソフトウェアはいかなる交換、コピー、流通、修正及び派生物の製造に使用されるものではありません。当該当社ソフトウェアの無制限の変更、修正、再生、流通、リバースエンジニアリング及び当該当社ソフトウェアが有する諸権利の行使などは禁じられています。当社の特許権又は著作権の元でない限り、いかなる許可も含意及び禁反言によって認められるものではありません。

V. 保証サービスの受け方：

保証サービスを受けるためには、ご購入を証明するもの（ご購入日と製品製造番号が明記されてあるもの）を添え、ご購入の販売店までご持参又は郵送してください。送料、保険はお客様のご負担になります。

VI. お問い合わせ先：

本保証規定に関してのご不明な点は下記までご連絡下さい。

モトローラ・ソリューションズ株式会社

PCR 事業部

電話 03-6365-7000 URL <http://www.motorolasolutions.com/JP>

© Copyright 2014 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

はじめに



このたびはモトローラのデジタル簡易無線機「MiT7000」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は MiT7000 の標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

●ご注意

- ・ この無線機は、職業上管理された状況での使用を意図した製品です。使用者は、自身の曝露に関する十分な知識を持ち、国際標準規格の職業曝露限度を守るよう自身の曝露を管理できる者を想定しています。一般消費者による本機の使用は認められていません。
- ・ 通話は、無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行うときはこのような制限はありません。
- ・ 他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
- ・ 他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
- ・ 本機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。
- ・ このデジタル簡易無線機は国内専用モデルです。海外では使用できません。

●本文中のマークの意味は次のようになっています。

 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

安全上のご注意

製品の安全性と電磁波による影響（携帯型無線機用）

本機を他の使用者に譲渡する場合には、使用者は、必ず本機の電磁波についての取り扱いが書かれた説明書（本書）を添えてください。

この無線機は、離れた2つの間の通信を提供するため、無線周波数帯の中の電磁エネルギー、すなわち電波を使用しています。無線通信用のエネルギーである高周波エネルギーは、電磁エネルギーの一形態であり、例えば日光やX線もその1つに含まれます。しかしながら、高周波エネルギーは、不適切に使用された場合に生物学的損傷を引き起こす可能性が高い電磁エネルギーと同じように考える必要はありません。（例えば、X線の非常に高いレベルは、組織および遺伝物質を損傷する可能性があります。）

モトローラの無線機は、以下の高周波エネルギーや電磁エネルギーのガイドラインに準拠しています。

- ・ 米国電気電子学会（IEEE）C95.1
- ・ 国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）

無線通信のための高周波エネルギーを安全に使用するため、科学、工学、医学、健康、そして産業分野に詳しい専門家が協力し、国際的な基準を策定しています。この基準はビジネスや一般的に使用される無線設備から放射される電波の推奨される値を提示しています。この値については、保護のため通常かなり余裕をもった値になっています。

すべてのモトローラの無線機は、こうした国際基準の値を満たすように設計、製造、およびテストされています。さらに、無線機の製造業者も無線機を使用されるお客様に安全にお使いいただけるような操作手順をお勧めしています。これらは高周波エネルギーについての知識をお客様にご理解いただき、無線機を安全に使用方法についての簡単な手順を提供するために非常に重要なことです。

電磁波エネルギー曝露限度（電波が人体に与える影響において、人体が受けても差し支えない限度）について国際基準に準拠するには、以下の手順に従ってください。

- ・ 電磁波エネルギー曝露は、アンテナからの距離の増加と共に減少します。
- ・ 送信している間、人体曝露を与えています。連続送信するなど、50%送信比率を超えないようにしてください。

- ・無線機本体やアンテナから鼻や唇が 2.5cm 以上離れた状態で、無線機のマイクが顔の前に来るようにして持ちます。アンテナは目から離れた状態にしておく必要があります。
- ・モトローラ純正のアクセサリをご使用ください。



高周波エネルギー曝露は、アンテナからの距離の増加と共に減少します。

- ・装着してのご使用について。人体に装着するときは、必ず、モトローラ純正の本機専用のクリップ、ホルダー、ホルスター、またはケースに装着してお使いください。モトローラ純正品以外のアクセサリをご使用になると、職業上管理された環境における高周波曝露の限界値を超える曝露レベルになる場合がありますので、純正の装着用アクセサリをお使いください。
- ・アンテナ、バッテリー、オーディオアクセサリについては、必ずモトローラ純正の付属品または交換用品をお使いください。純正品以外のアンテナ、バッテリー、アクセサリ（有線または無線）をご使用になると、適用される高周波曝露に関するガイドライン（IEEE、ICNIRP）を超える場合があります。

航空機 / 医療機関について

機内、病院、および医療機関では外部電磁波エネルギーの影響を受けやすい機器を使用していることがあります。電源を切るよう指示されている場所では無線機の電源を切ってください。

ペースメーカー

米国先進医療技術工業会 (Advanced Medical Technology Association) (AdvaMed) は、無線機とペースメーカーの間の距離を少なくとも 15cm は維持することを推奨しています。ペースメーカーを着用されている方は本機のご使用を控えてください。やむを得ず無線機を利用する場合は必ず、無線機を着用のペースメーカーから少なくとも 15cm 離しておいてください。

何らかの理由により、妨害が生じていることが疑われる場合には、すぐに無線機のスイッチをオフにしてください。

無線機からの干渉の潜在的なリスクについて、医師に相談してください（不十分シールド医療機器が干渉を受けやすくなる場合があります）。

補聴器

無線機は、一部の補聴器に干渉することがあります。干渉する場合は、使用している補聴器メーカーに相談してください。

その他の医療機器

その他の個人用医療機器を使用する場合は、メーカーに相談してください。

安全運転について

運転中に無線機を使用しないでください。

道路交通法、第71条第5号の5の規定により運転中に無線機を手に持って使用することは禁止されています。

事故の原因になりますので、まず安全な路肩に寄せ、停車してから、通信をおこなってください。または、ハンズフリー用純正アクセサリのご使用を推奨しています。

音量について

大きな音が原因による聴覚の障害については、最初は自覚することなく、後になって感じられることがあります。長時間大音量で受信すると聴覚に影響を与えますので、最小限音量で、また短時間で使用してください。

聴覚を保護するには、次の事をお守りください。

- ・最低限必要な音量で使用してください。
- ・周囲の騒音で聞こえない時のみ、音量を大きくしてください。
- ・ヘッドセットまたはイヤホンを接続する時は、音量を下げてください。
- ・長時間、大音量でヘッドセットやイヤホンを使用しないでください。
- ・ヘッドセットまたはイヤホンなしで無線機を使用する場合は、直接耳にスピーカーをあてないでください。



警告

エアバッグ

- ・エアバッグの配線との干渉を避けるために、無線機の設置場所を、車両の製造元マニュアルを参照してください。
- ・エアバッグの部分、またはエアバッグが膨らむ場所に無線機を置かないでください。エアバッグは強い力で膨らみます。無線機がエアバッグの膨らむ場所に置かれている場合、エアバッグが膨らみますと無線機が強い力で押され、車の搭乗者がけがをする原因となります。



警告

発破区域での使用

- ・発破区域および雷管の近くでは無線機の電源を切ってください。
- ・爆発に影響を与えないよう、「発破危険」のように表示されている場所では、無線機の電源を切ってください。
- ・爆発の恐れのある場所に立ち入る場合、立ち入る前に無線機の電源を切ってください。
- ・爆発のおそれのある場所とは、ボートのデッキの下などの燃料補給・貯蔵場所、燃料や化学薬品の運送または貯蔵施設、および、空気中に穀物、ほこりや金属粉末などの化学物質や粒子が含まれている領域など、危険なガス、蒸気、または埃がある可能性があり、危険であると分類され、とりわけ爆発のおそれのある場所のことを言います。

- ・爆発の可能性がある場所での、取り付け、取り外し、および充電をしないでください。火花が散ることによってそれが爆発や火災の原因となり、身体的な損傷や死亡につながる恐れがあります。



注意

アンテナ

アンテナが壊れている無線機は使用しないでください。

壊れているアンテナの導体が皮膚に触れ、送信した場合、軽いやけどをすることがあります。



注意

電池パック

すべての電池は、物的損害または傷害を引き起こす可能性があります。

電池パックは、金属製のものと共にポケットなどに入れたり金属ケースに入れしないでください。端子が他の金属製のものによりショートし、火傷、発火の危険があります。危険環境下で電池パックを交換したり、充電しないでください。電池パックの脱着時に端子から火花が飛び、爆発や火災の原因になることがあります。不正な修理をおこなったり、ラベルの貼り替えを行いますと、その機器の認定が無効となることがあります。



注意

静電気について

静電気が発生しやすい場所・条件でイヤホンをご使用される場合、静電気によって耳の皮膚に電気ショックを感じる場合があります。そのような場合はイヤホンを使用しないようにしてください。



注意

アクセサリーについて

- ・当社製機器は、ホームページのリストに掲載されるアクセサリーが認定機関によって認定されています。アクセサリーとの組み合わせは、厳密に遵守する必要があります。
- ・接触不良の原因となりますので、アクセサリーを使用しないときには、アクセサリーコネクターカバー / フタを付けてご使用ください。

その他の安全上の注意



警告

運用場所について

ゴルフ場などの野外で無線機を使用中に雷鳴が聞こえた時は、落雷のおそれがありますので無線機を使用しないでください。



警告

その他電子機器との混信

正しく設置されていない、また、十分にシールドされていない自動車の電子操作系統や娯楽用機器など、電磁波によって影響を受ける場合があります。その場合、それぞれの販売メーカーまたは販売店に、それらの設備が外部からの電磁波から適切にシールドされているかどうかご確認ください。また、自動車などに別途追加した設備についてもご確認ください。



衝撃

強い衝撃をあたえたり、投げつけたりしないでください。アンテナが破損することがありますので、無線機を持つときは、アンテナをつかまさないでください。



使用環境

- ・異常に温度が高くなる場所や、直接雨や水のかかる場所に放置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。
- ・直射日光のあたる場所（自動車内）や高温になる所、極端な低温環境に無線機本体を置かないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

電池パックの取扱いについて

重要： 思わぬ怪我や損害を避けるために、電池パックの保管と取扱は適切に行ってください。

ほとんどの電池パックの問題は、不適切に取り扱ったか、もしくはダメージのある電池パックを使用し続けたことに原因があります。

下記のガイドラインに従ってご利用ください。



- ・高温になる車の中などに充電電池を放置しないでください
- ・電池パックを落とさないでください。電池パックを落とすことにより、特に固い床などでは、ダメージの潜在的な原因となります。
- ・分解、押しつぶす、穴をあける、裁断する、もしくは電池パックの形状を変更するような試みはお止めください。
- ・電池パックを水につからないようにしてください。水は電池パック内部の回路に侵入する場合があります、腐食などを引き起こします。
- ・金属類を電池パックに触れないようにしてください。もし金属類、たとえば貴金属装飾品などが端子に長期間触れたままの場合、電池パックが高温になる場合があります。
- ・高温になる熱源には近づけないでください。過度の熱は無線機や電池パックにダメージを与えます。高温はまた、電池パックが故障したり、液漏れ、膨張の原因になる場合があります。
- ・濡れたり湿った電池パックをドライヤーや電子レンジのような家電製品、もしくは熱源などで乾かすのは決してしないでください。

取扱い上のお願い



- ・充電の際には専用の充電器を使用してください。
- ・電池パックを使用しない場合には、無線機本体から外して湿気の少ない場所で保管してください。
- ・電源端子・充電端子をとときどき乾いた綿棒などで、清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
- ・無線機本体の清掃の際は、糸くずのつかない乾いた柔らかい布で汚れを落としてください。
- ・無線機を直接、洗剤の溶液の中に入れるようなことは絶対にしないでください。
- ・洗剤、溶剤、アルコールなどで無線機を清掃すると、無線機を傷つけたり破損したりすることがあります。

防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP67(防塵等級6^{*1}、防水等級7^{*2})の防塵、防水性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ず、ご使用になる前に下記の項目をご確認ください。



- ・キーやボタンのラバー、アクセサリ端子の保護カバー、電池パック接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
- ・海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ・本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- ・本機は、水中での使用はできません。
- ・濡れている状態で充電しないでください。
- ・マイク、スピーカー部に尖ったものを差し込まないでください。
- ・水滴が付着した場合は放置せず水滴を拭き取ってください。
- ・雨の中や水滴が付いたままの電池パックの取り付け/取り外しや、アクセサリコネクタカバーの着脱は行わないでください。
- ・防水性能の記載がある付属品・アクセサリを除いては、防水性能を有していません。
- ・熱湯、温風(ドライヤーなど)を無線機にあてないでください。
- ・極端な温度の変化でのご利用は避けてください。結露のため内部が腐食し故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ご使用になる環境はそれぞれ異なりますので、全ての状態での防水性能を保証するものではありません。

製品本体の防水性能を維持するためには、異常の有無に関わらず保証期間経過後、1年に一度のメンテナンスをお勧めします（有償にて承ります）。
過失等、故障内容によっては、保証期間内においても有償修理の対象となる場合があります。

※1：粉塵が内部に侵入しない。

※2：水深1mの水没に30分間没しても有害な影響を受けないこと。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.
U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

正しくご使用いただくために

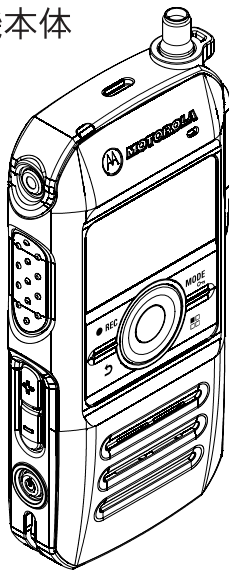
- ◎ 電池パックはお引渡し時には、十分充電されていません。ご購入後は、必ず充電してからお使いください。
- ◎ 本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正アクセサリを使用してください。当社純正品以外のアクセサリを使用すると、故障や破損の原因になります。当社純正品以外のアクセサリの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
- ◎ リチウムイオン電池パックを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります。
- ◎ 外部マイクロホンを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしないでください。コードの断線などにより、故障の原因になります。
- ◎ 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
- ◎ 電波法により、無線機やマイクを分解・改造・指定以外の装置を接続することは禁じられています。
- ◎ 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- ◎ 通話する際は、マイクから2.5センチ以上離して普通の声量で話してください。マイクと口元の距離が近かったり、声が大きかったりすると、音声割れたり、歪むことがあります。
- ◎ 運用が終わりましたら、電池パックが消耗しないように、無線機の電源を切ってください。一週間以上使用しない場合は、無線機から電池パックを外してください。
- ◎ 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

通信方式に関して

- ◎ 本機は、業務利用型のデジタル簡易無線機（デジタル通信方式）です。
使用できる通信方式は、簡易無線局の免許内容により異なりますので、詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。
- ◎ 本機は、ARIB規格に準拠した、他社互換デジタル通信モード“ユーザーコード通信”に対応しておりますので、互換を示す種別コード「3B」の他社デジタル簡易無線機と通信することができます。

構成品

- ◎ 無線機本体



- ◎ アクセサリー端子保護カバー



- ◎ 取扱説明書（本書）

リチウムイオン電池パック（アクセサリ）のリサイクルについて

リチウムイオン電池パックはリサイクルできます。

リチウムイオン電池パックが不要になった場合は廃棄せずに、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。



特長

厚さ 30mm の薄型ながら IP67、MIL-STD-810G 相当のプロ仕様堅牢設計

デジタル特有の音の遅れを最新技術で最大限削減

デジタル特有の音の遅延の影響を極限まで削減。デジタルの音の良さを御社の通信に最大限活かすことができます。

受信音を好みの音質に 6 段階で変更きるイコライザー機能

音質にこだわったモトローラ独自の DSP 技術により、デジタルとは思えない自然な音質、さらに自分好みに合わせた聞きやすい音質で受信することができます。

声を出せないときでもボタン 1 つで返答するクイックアンサー

静かなところでも、すばやく通信しなければならないこともあります。この機能を利用すれば、事前に録音した音声を、必要なときにボタン 1 つで発信することができます。

騒音の中でも明瞭な音声を送信するノイズキャンセリング機能

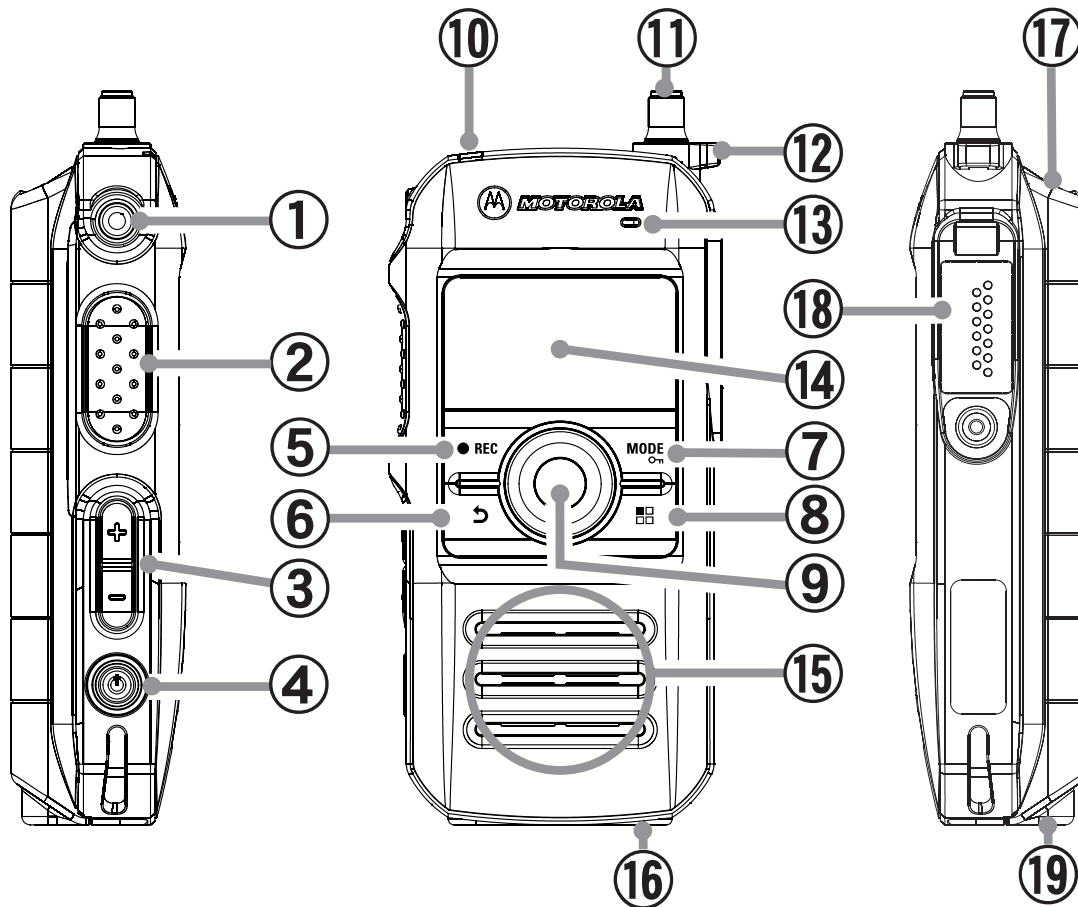
仕事場は常に静かだとは限りません。どんな騒音の激しい場所でも、クリアな音声を発信し、通話品質を向上する機能が搭載されています。

騒音下で自動的に音量を調整するインテリジェントオーディオライト機能

たとえ明瞭な音声を送信できても、相手の話すことがわからなければ「通信」は成り立ちません。モトローラのノウハウを投入し、騒音の激しい場所でも相手の声が聞き取りやすくできる機能を搭載しました（この機能は、NEAUD1000 2 ピースイヤホンマイクでの使用に対応しています）。

各部の名前と機能

本体 (MiT7000)



① プログラマブルボタン (31 ページ参照)

- ◎ 短く押すと、音声を発して応答できないときメッセージを送出します (クイックアンサー)。
- ◎ 約2秒以上押すと、アラーム音 / LED 表示 / 緊急信号を送出して緊急を知らせます。

② PTT ボタン (24 ページ参照)

PTT ボタン (通話ボタン) を押すと、無線機は送信状態になります。
放すと待ち受け / 受信状態になります。

③ 音量調節ボタン (22 ページ参照)

音量の調節をします。

④ 電源ボタン (22 ページ参照)

電源を ON/OFF するボタンです。

⑤ REC (録音) ボタン (27 ページ参照)

受信音声の録音開始 / 停止を行います。

⑥ リターン (戻る) ボタン (28 ページ参照)

- ◎ 短く押すと、各種設定を行っているとときに1つ前の状態に戻すことができます。
- ◎ 約2秒以上押すと、簡易リスト / 送受信メニューでは待ち受け画面まで、拡張機能 (コールモード / セットモード) では拡張機能選択画面まで移行します。

⑦ **MODE/ キーロックボタン** (28 ページ参照)

- ◎ 短く押すと、個別通信時に「一斉 ➡ グループ ➡ 個別 ➡ 一斉・・・」と呼び出し方法が切り替わります。
- ◎ 約2秒以上押すと、誤って各種ボタンに触れても設定が変わらないようにロックすることができます。もう一度2秒間押し続けるとロック解除となります。

⑧ **メニューボタン** (30 ページ参照)

- ◎ 短く押すと、簡易リスト画面を表示します。
- ◎ 約2秒以上押すと、送受信メニューに切り替わります。

⑨ **ナビゲーションキー** (22、29 ページ参照)

- 上 / 下 : チャンネルの変更、呼び出す相手先の変更、拡張機能の項目選択時に押します。
- 左 / 右 : チャンネル切替え及び個別選択呼出しの呼先個別番号 (ID 番号) の切替えをします。
- 中央 :
 - ・ 約2秒以上押すと、現在のチャンネル情報を音声案内で確認することができます。
例 : Ch 01 の場合は「いち」とアナウンスします。
 - ・ ナビゲーションキー中央を押しながら“電源”ボタンを押すと拡張機能画面になります。

⑩ **LED インジケータ** (16 ページ参照)

- 受信中は通信モードにより“緑色”“水色”“青または白色”の点滅、送信中は“赤色”または“青色”に点灯します。
- バッテリーが消耗時は、“赤色”で点滅します。

⑪ **アンテナコネクター**

- アンテナを接続します。

⑫ **ハンドストラップ取り付け穴** (17 ページ参照)

- ハンドストラップを取り付けます。

⑬ **マイク**

⑭ **フルドットディスプレイ** (16 ページ参照)

⑮ **スピーカー**

⑯ **ノイズキャンセリングマイク**

- 周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信するために設けられています。この穴は塞がないようにしてください。

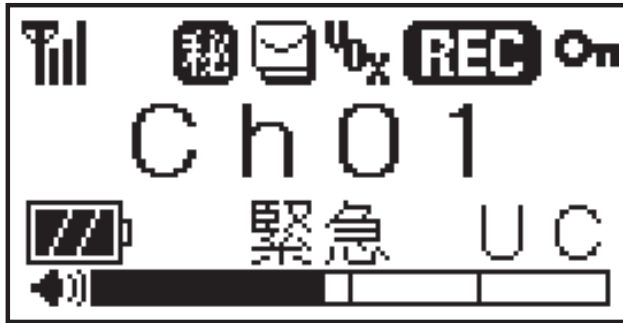
⑰ **リチウムイオン電池パック** (18 ページ参照)

⑱ **アクセサリ端子** (67 ページ参照)

- スピーカーマイクなどのアクセサリを接続します。

⑲ **電池パック取り外しロックレバー** (18 ページ参照)

フルドットディスプレイ



アイコン表示部

チャンネル / 呼び先等表示部

緊急状態 / 通信状態表示 /
リセット開始状態 / 電池残量表示

	アンテナ (電界強度表示 / 送信出力表示) 受信時: 受信している電波の強さに応じて4段階で表示します。 送信時: 5W 出力時は “”, 1W 出力時は “” が点灯します。
	秘話 秘話通信機能が “ON” のときに点灯します。
	メッセージ ショートメッセージ送信中および、受信中に点滅します。
	VOX (ボックス) PTT ボタンを押さなくても、音声で PTT を ON/OFF します。 話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。
	録音メモアイコン 音声メモ機能が動作中 (録音中) に点灯します。
	キーロック 設定されたボタンやツマミがロックされ、無効の状態の時に点灯します。

LED インジケータの動作概要

LED インジケータは通信状況・動作状況に応じて下記のように点灯・点滅します。

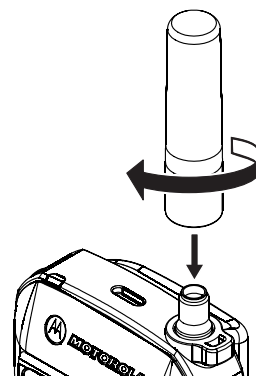
LED の色・状態	通信 (動作) 状態
緑色点滅	UC 通信受信時、他局通信
赤色点灯	UC 通信送信時、個別通信送信時
赤色点滅	ローバッテリーアラーム機能動作中
青色点滅	秘話 UC 通信受信時、秘話個別通信受信時
青色点灯	秘話 UC 通信送信時、秘話個別通信送信時
水色点滅	個別通信受信時
水色点灯	個別通信および、秘話個別通信での通話タイマー設定時間内の時 (および不在着信時)
白色点滅	緊急アラーム動作時および緊急信号着信時

アンテナの取り付け

アンテナコネクタに近い部分を持ち、時計回りにしっかりと止まるまで回します。

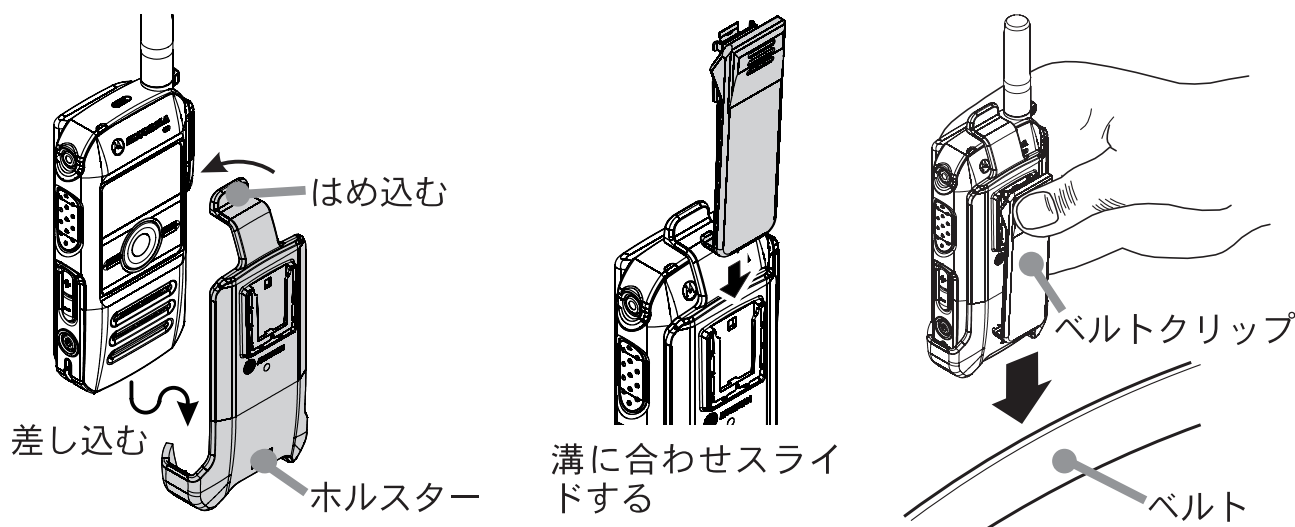
注意

- アンテナを取り付け / 取り外し時には、アンテナの上部を持って回さないでください。アンテナ内部で断線することがあります。
- アンテナを外した状態では、絶対に送信しないでください。異常発熱、故障の原因になります。

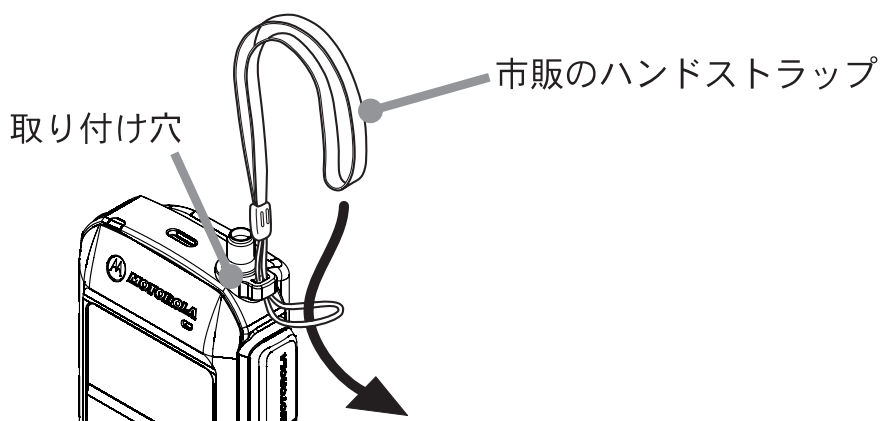


ホルスターとベルトクリップの取り付け

- ① 無線機側面の溝部分にホルスター内側のレールを合わせ差し込みます。
- ② 無線機上面の凹部分にホルスター上面の凸部分をはめ込みます。
- ③ ベルトクリップのレールをホルスターの溝に合わせ、「カチッ」と音がするまで確実にスライドします。
- ③ ベルトクリップの先端を指で押し、ベルトへ確実に取り付けます。



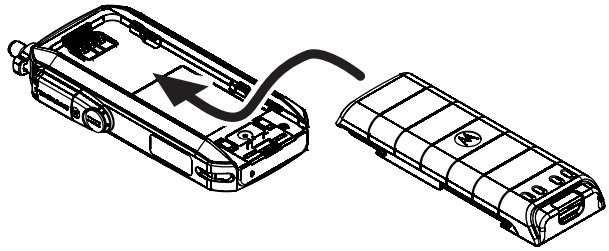
ハンドストラップの取り付け



電池パックの取り付け / 取り外し

リチウムイオン電池パックを取り付ける

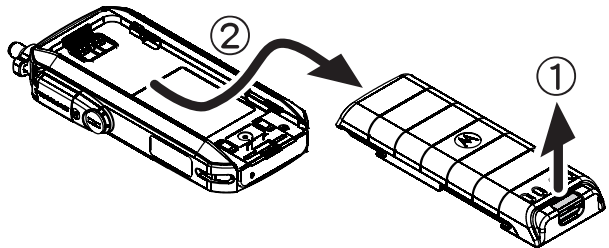
リチウムイオン電池パックの背面を押しながらかし、スライドし、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。



電池パックが確実に取り付けられていないと、落下事故や故障の原因になります。

リチウムイオン電池パックを取り外す

- ① ロックレバーを矢印の方向に上げて（引いて）ロックを外します。
- ② リチウムイオン電池パックを矢印の方向へスライドさせ外します。



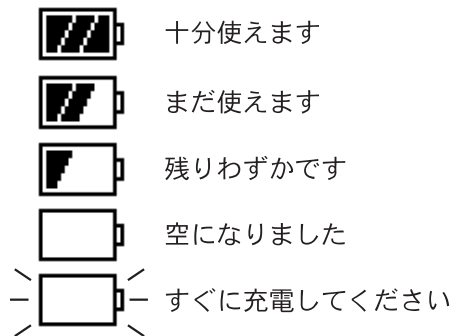
ロックを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。

電池の消耗について

電池が消耗すると、ディスプレイの電池マークが右記のように変化します。

ローバッテリーアラーム機能

電池が空になり電池マークが点滅したとき、さらにLEDインジケータが赤色に点滅して電子音が鳴ります。その時は、直ちに充電を行ってください。



電池持続時間*

リチウムイオン電池	送信出力	
	5W	1W
MLB-701	約 10 時間	約 13 時間

※電池持続時間は「送信 5：受信 5：待ち受け 90」の測定条件になります。

周囲の温度により使用できる時間が異なることがあります（特に寒冷地では使用時間が短くなります）。

リチウムイオン電池パックの充電方法

アクセサリーの連結型充電器“MCD-71”を使用した、リチウムイオン電池パックの充電方法を説明します(下図参照)。MCD-71は6台まで連結して充電が可能です。連結時充電方法等の詳細は、MCD-71に同梱の取扱説明書を参照してください。

補足

リチウムイオン電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

電池パックの種類	充電時間
MLB-701	約 3~4 時間

1. 連結型充電器の側面にあるジャックに、ACアダプターのコネクターを挿し込み、電源プラグをコンセント“AC 100V”に接続します。
2. 電池パックのサイズに合わせて付属のスペーサーを充電口に取り付けます。

4. 充電が完了すると、LEDインジケータは赤色から緑色に変わります。

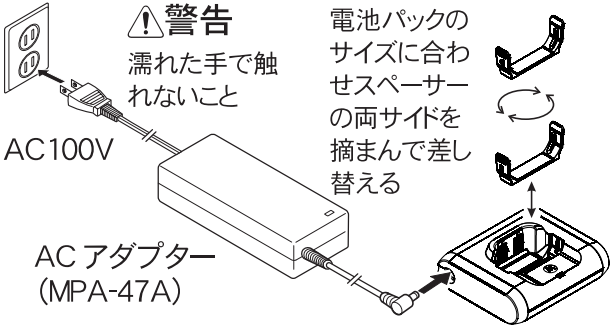
注意

長時間充電を続けると、電池パックを劣化させることがあります。

5. 充電が完了したら無線機(または電池パック)を連結型充電器から取り出し、ACアダプターをコンセントから外してください。

補足

ACアダプターを外すときは、電源コードを引っ張らずにACプラグを持って抜いてください。

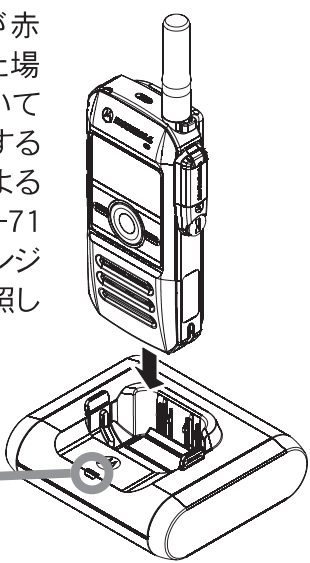


3. 電源を切った無線機(または電池パック)を連結型充電器に挿し込みます。赤色のLEDインジケータが点灯し、充電を開始します。

注意

LEDインジケータが赤色点滅した場合で、電池パックを抜いても点滅した状態が継続する場合は、温度エラーによるものです。詳細はMCD-71取扱説明書の“LEDインジケータ”説明文を参照してください。

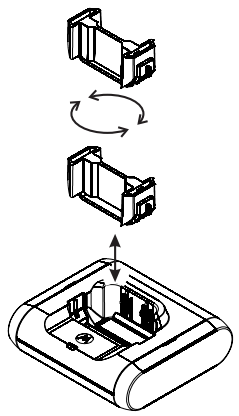
LEDインジケータ
赤色点灯：充電中
緑色点灯：充電完了
赤色点滅：エラー



電池パック単体で充電する際のご注意

電池パックに合わせて電池パック単体専用スペーサーを連結型充電器の充電口に取り付けます。リチウムイオン電池パックの溝をスペーサー内側のレールに合わせて挿し込みます。

電池パックのサイズに合わせスペーサーの両サイドを掴んで差し替える



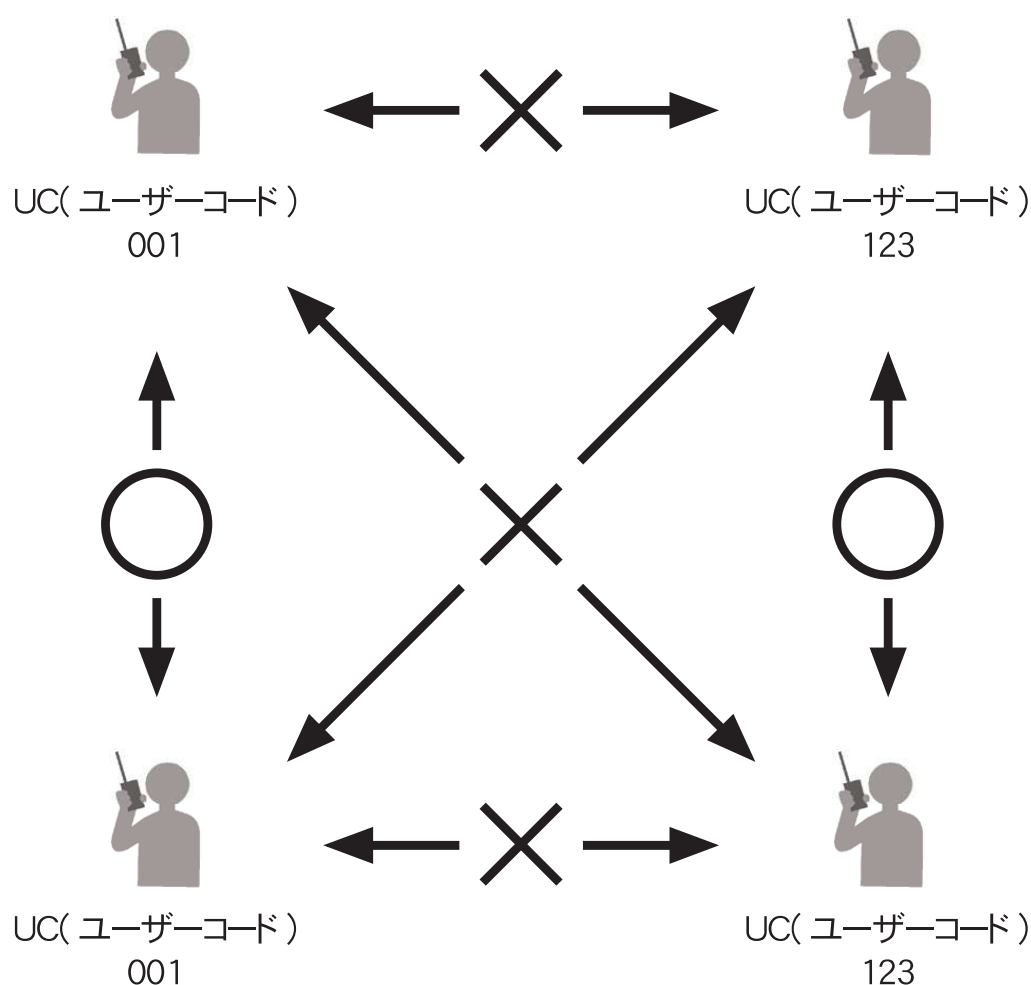
通信について

UC 通信

全員が同じチャンネル番号にあわせていても、同じ UC(ユーザーコード)を設定している者同士だけが、通話することができる通信方式です。

本機は、あらかじめ UC(ユーザーコード)が“000”に設定されていますが、コールモードの「C02 UC」(45 ページ)で、000～511に変更することができます。

UC 通信の通信例



個別通信

全員が同じチャンネル番号とUC(ユーザーコード)に合わせていても、特定の相手だけを呼び出したり(全員を一斉に呼び出すことも可能)、特定のグループに属する全ての局を呼び出して通話することができる通信方式です。

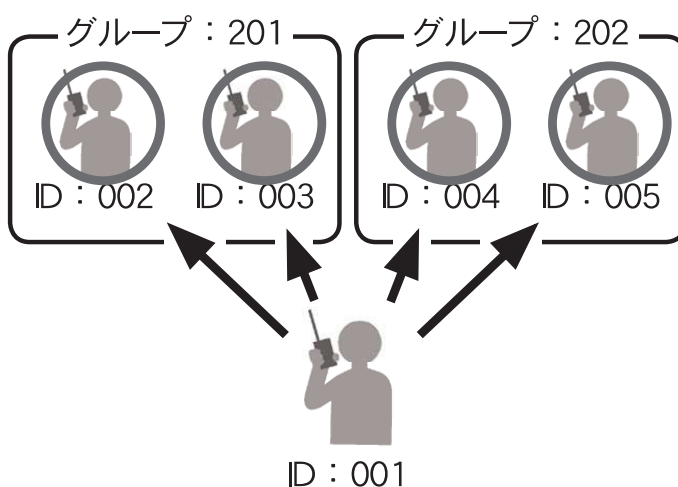
この通信方式を利用するには、各無線機に個別のID番号を設定し、さらに特定のグループを呼び出すにはグループIDの設定が必要になります。個別IDの設定方法は、コールモードの「C03 自局ID」(48ページ)を、グループIDの設定方法は、コールモードの「C04 グループID」(48ページ)を参照してください。

個別通信の通信例

特定の相手だけを呼び出す



全員を一斉に呼び出す



特定のグループに属する全員を呼び出す



通信の基本操作

下記の通信を行う場合は、あらかじめ確認および設定を行ってください。

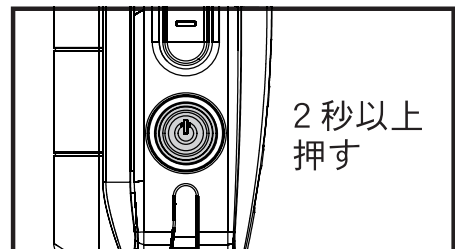
- ◎ UC 通信を行う
 - コールモード「C01 通信方式」を“UC 通信”に設定する。
 - コールモード「C02 UC」を交信する相手と同じ UC（ユーザーコード）に設定する。
- ◎ 個別通信を行う
 - コールモード「C01 通信方式」を“個別通信”に設定する。
 - コールモード「C02 UC」を交信する相手と同じ UC（ユーザーコード）に設定する。
 - コールモード「C03 自局 ID」を他の無線機と違う ID に設定する。
 - コールモード「C04 グループ ID」をグループと同じ番号に設定する。

① 電源を入れる

電源ボタンを 2 秒以上押すと、電源が入ります。

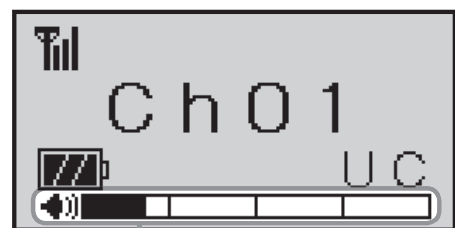
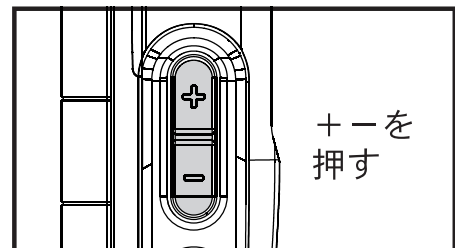
補足

ディスプレイに起動画面が約1秒間表示され「ピピッ」と電子音が鳴り、現在のチャンネルがディスプレイに表示されます。



② 音量を調節する

音量調節ボタン（+-）で、ピープ音が適切な音量になるように調節します。



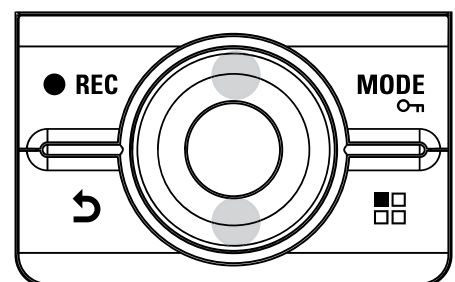
音量の目安

③ チャンネルをあわせる

ナビゲーションキーの上下を押すと、“Ch01” ~ “Ch65” を選択することができます。


補足


ナビゲーションキーの中央を約2秒以上押すとチャンネル情報を音声でアナウンスします。

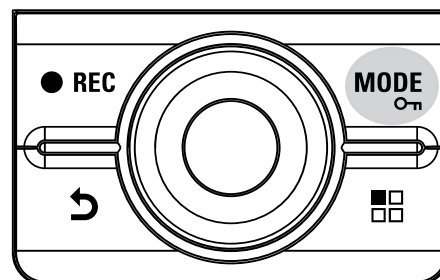


④ 呼び出し方法を選ぶ（個別通信のみ）

UC 通信の場合は 手順⑥へ進んでください。

 を短く何度か押して、呼び出し方法を選びます。

※  を押して“グループ”と“個別”を表示させたときは、登録されたIDの一番若い値が表示されます。



同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出したいとき



特定のグループに属する、全ての局を一斉に呼び出したいとき



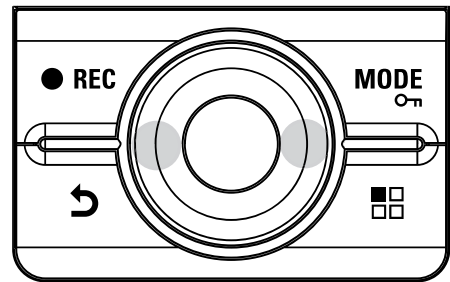
特定の相手局を呼び出したいとき



次ページに続く

⑤ 呼び出し先を選ぶ



特定の相手やグループを呼び出したい時は、ナビゲーションキーの左右を押して、“個別 ID”または“グループ ID”を選択します。

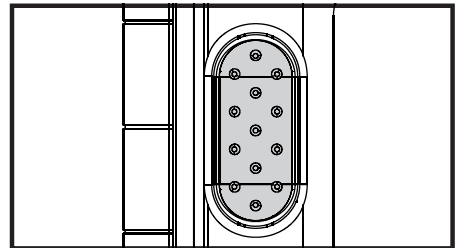


⑥ 送信（通話）する

PTT（通話）ボタンを押しながら、マイクに向かって話します。

補足

- 混信を防ぐため、他の無線局が話をしていないとき(LEDインジケータが緑色に点滅していないとき)に、送信するようにしてください。
- マイクロホンと口元の間隔は、2.5センチ以上離して、普通の声で話します。
- 送信中は、LEDインジケータが赤色または青色に点灯し(16ページ)、ディスプレイに“”が点灯します(送信出力が“Low 固定(1W)”に設定されている場合は“”が点灯します)。
- 連続送信時間は5分未満と決められています。本機では送信を開始してから約4分50秒後にアラームが「ピピ」と鳴り、送信開始から5分が経過する前に、自動的に送信が止まります。そのままPTTボタン(送信ボタン)を押し続けた場合、送信を開始してから5分間経過すると、その後1分間は送信禁止状態になります。アラームが鳴った際は、速やかに送信を中止してください。

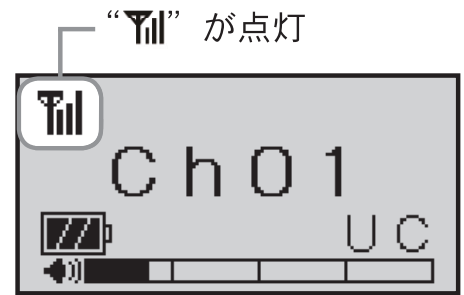


⑦ 相手の音声を受信する

PTT(通話)ボタンを放すと、待ち受けまたは相手の話を聞く(受信)ことができます。

補足

- 信号を受信すると、LEDインジケータが点滅し(16ページ)、電波の強さに応じて、ディスプレイの“アンテナマーク”が点灯します(最大4本)。
- 個別通信の場合、相手の話が終わると通話タイマー(初期値は5秒)がお互いに設定されます。応答は、通話タイマー設定時間内(応答待ち時間)に行ってください。
通話タイマーとは、相手が応答するまでの待ち時間で、タイマー動作中はLEDインジケータが水色に点灯します。
応答されなかったときは、待ち受け状態に戻ります。待ち受け状態は「C07 個別宛先」の設定によって変わります。

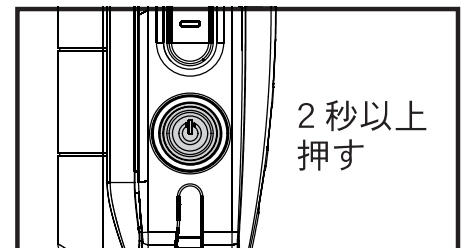


⑧ 電源を切る

電源ボタンを2秒以上押すと、電源が切れます。

補足

一週間以上使用しない場合は、リチウムイオン電池パックが消耗しないように、無線機の電源を切り、無線機から電池パックを外してください。



呼び出しを受けたとき（個別通信のみ）

個別通信方式で呼び出しを受けると、ディスプレイ表示の点滅、電子音（着信ベル）、LEDの点滅により、呼び出しがあったことを知らせ、同時に通話タイマー（初期値は5秒）が設定されます。

すぐに応答することができなかった場合、通話タイマー設定時間が経過すると“不在着信状態”となり、呼び出してきた相手局IDの表示が点滅します。その状態でPTT（通話）ボタンを押すと、相手局を呼び返すことができます。

不在着信状態をキャンセルする場合は、を押してください。

個別通信で呼び出された方式（個別、グループ、一斉）による電子音（着信ベル）などの設定は“拡張機能”を参照してください（44ページ）。また、LEDの表示については“LEDインジケータの動作概要”を参照してください（16ページ）。

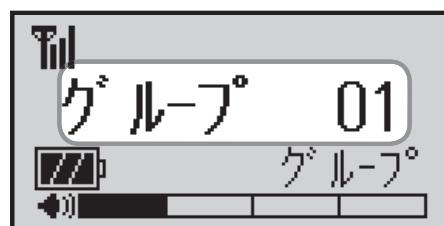
個別呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出してきた相手局のIDが点滅表示されます。



グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出されたグループのIDが表示されます。



一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、“ALL”が表示されます。



個別通信設定と受信待ち受け画面について

混信を防止するため“UC(ユーザーコード)”を設定しています。

また、個別通信を行う場合は、全ての無線機に“IDリスト”を作成し、それぞれの無線機に自局のIDを記憶させる必要があります。

なお本機には、あらかじめ仮のIDリストが作成されていますが、お客様の運用形態に合わせて、再構成することをお勧めいたします(設定は販売店が行いますので、お買い上げの販売店にご相談ください)。

通信方式と設定	個別通信運用	UC 通信運用
必要な設定	UC と ID 設定	UC 設定

待ち受け画面では、UC 通信の場合チャンネルを表示し、個別通信の場合はあて先を表示します。

その他の基本スイッチ / ボタン操作

REC (録音) ボタン

残したい用件をワンタッチで相手の音声を録音することができます。後で繰り返し内容を確認することができる便利な機能です。

録音のしかた

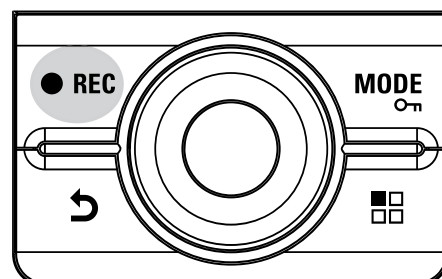
 を短く押す。

録音を開始します。

再び録音ボタンを押すと、録音を中止します。

補足

録音可能な時間には制限があり、1 件につき最大約 60 秒録音できます。件数は 5 件まで可能です。



1 件	2 件	3 件	4 件	5 件
-----	-----	-----	-----	-----

5 件まで録音可能 (合計約 $5 \times 60 = 300$ 秒以内)

1 件 : 50 秒	2 件 : 20 秒	3 件 : 45 秒	4 件 : 5 秒	5 件 : 無し
------------	------------	------------	-----------	----------

件数は 5 件まで

再生のしかた

録音された音声の再生は、簡易リストで行います。

34 ページの“録音メモ”を参照してください。

MODE/ キーロックボタン

個別通信運用時に短く押すごとに、呼び出し先リストを表示します。

また、2秒間押すと誤って各ボタンを押しても、チャンネルなどの設定が変わらないようにするキーロック機能が動作します。

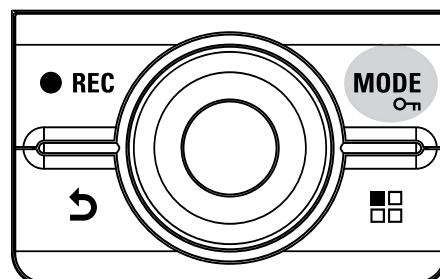
◎ MODE（呼び出し先リスト表示）

を短く押す。

個別通信運用時に、


「ALL  グループ  コベツ  ALL . . .」

の順番に切替わります。



◎ キーロック

を約2秒以上押す。

ディスプレイに “” が点灯し、ボタンがロックされます。

補足

- キーロックが動作中に各ボタンを押すと “- LOCK -” が表示され、ロック中であることを知らせます。
- キーロックをしても、プログラマブルボタン、PTT(通話)ボタンはロックされません。
- “F04キーロック”でPTT(通話)ボタンをロックすることができます(58ページ参照)。

ロックを解除する

を約2秒以上押す。

ロックが解除され、ディスプレイの “” 表示が消えます。

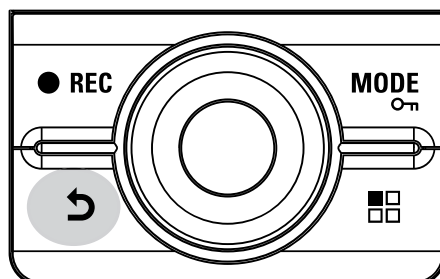
リターン(戻る)ボタン

ボタンの押し方により2種類の動作をおこないます。

◎ リターン（1つ前の状態に戻す）

を短く押す。

各設定を行っているときに、1つ前の状態に戻すことができます。



◎ リターン

（待ち受け画面または選択画面の状態に戻す）

を約2秒以上押す。

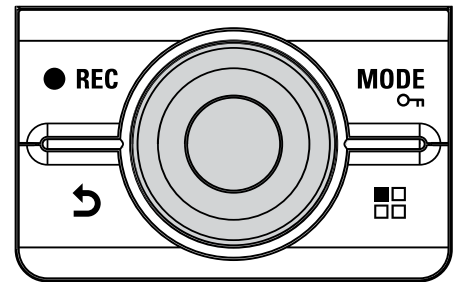
簡易リスト / 送受信メニューでは待ち受け画面まで、拡張機能（コールモード / セットモード）では拡張機能選択画面まで移行します。

ナビゲーションキー

ボタンの押し方により4種類の動作をおこないます。

◎チャンネルを選択する

- ・ 上を短く押す。
チャンネルが1ステップアップ方向に変わります。
- ・ 下を短く押す。
チャンネルが1ステップダウン方向に変わります。
- ・ 上または下を長押しする。
チャンネルが連続で変わります。



◎呼び出し先を選択する / カーソルを移動する

- ・ 個別通信運用時、左または右に短く押す。
個別IDまたはグループID個を選択します。



- ・ 拡張機能時、左または右に短く押す。
カーソルが左または右へ移動します。

◎チャンネル情報を音声でアナウンス (ボイスチャンネルアナウンス)

中央を約2秒以上押す。

現在のチャンネル情報をディスプレイで確認せずに音声案内で確認することができる“ボイスチャンネルアナウンス”機能が動作します。

補足

- Ch01の場合は「いち」とアナウンスします。
- “F14 CHアナウンス”で、ボタンを押したときの音声案内をON/OFFすることができます。(64ページ)。

◎拡張機能表示

中央を押しながら電源を入れる。

コールモード (44 ページ)、セットモード (54 ページ) の拡張機能画面を表示します。

注意

拡張機能にサービスモードが表示されますが、サービスマン専用モードです。故意に設定すると無線機が使用できなくなることがあります。

メニューボタン

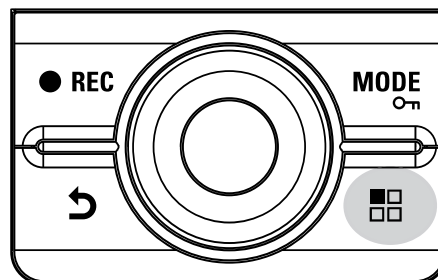
は、押し方により2種類の動作をおこないます。

◎ 簡易リスト表示

を短く押す。

「簡易リスト」が表示され、録音内容の再生や、自局のUC、個別ID、グループIDまた、無線機の周波数などの情報を確認することができます。

詳細は、32 ページの“簡易リスト”をご覧ください。



◎ 送受信メニュー表示（個別運用時のみ有効です）

を約2秒以上押す。

「送受信メニュー」が表示され、“発着信履歴”や“メッセージの送信や確認”、“アンサーバック（問い合わせ）”をおこなうことができます。

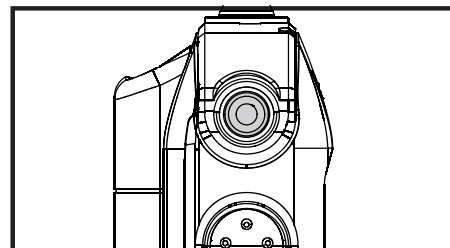
詳細は、38 ページの“送受信メニュー”をご覧ください。

プログラマブルボタン

押し方により2種類の動作をおこないます。

◎ クイックアンサーボタン

例として「了解しました。後程応答します。」など、よく使用するメッセージを録音しておき、音声を発して応答できないようなシチュエーションのときにボタンを押すと、あらかじめ録音したメッセージが送信されます。



ボタンを短く押す。

補足

メッセージの録音方法は 35 ページの“クイックアンサー”をご覧ください。

◎ 緊急ボタン

不慮の事故などの緊急事態を、アラーム音とLEDの表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して、他の仲間に緊急を知らせることができます。

ボタンを約2秒以上押す。

59 ページに記載の“F05 緊急モード”で設定した動作をおこないます。

補足

緊急アラーム機能の動作を停止させるには、電源を切ってください。

緊急信号を受信したとき

個別通信時に緊急信号を受信すると、ディスプレイに緊急信号を発信した局のIDを表示し、LEDインジケーターが白色で点滅します。


さらに、しばらく何も操作をおこなわないと、電子音が鳴り続けます。

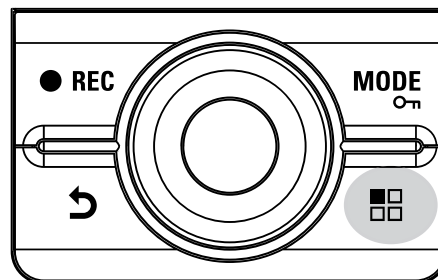
補足

- 電子音は、いずれかのボタンを押すと止まります。
- プログラマブルボタンを押すと、緊急受信モードは解除されますが、再び緊急信号を受信すると、再度電子音が鳴り始めます。

緊急信号を受信したときに、PTTボタンを押して送信すると、自動的に“一斉呼び出し”（同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出す）に切り替わり、緊急信号を発信した相手局に対して、音声での問いかけや、応答をすることができます。

簡易リスト

待ち受け画面でを押すと、録音内容の再生や、自局のUC、個別ID、グループIDまた、無線機の周波数などの情報を確認することができます。



項目	設定値 / 表示項目	機能
リピート再生	—	自動で録音されている相手局の音声を再生します。
録音メモ	—	録音された音声を再生します。
クイックアンサー	録音 / 再生 / 消去	音声メッセージを再生します。
イコライザー	OFF/ パターン 1 (低域強調) / パターン 2 (高域強調) / パターン 3 (中域強調) / パターン 4 (低高域強調) / パターン 5 (中高域強調)	受信音の音質を変更することができます。
ノイズキャンセル	ON/OFF	ノイズキャンセル機能をON / OFFします。
インテリオーディオライト	ON/OFF	インテリジェントオーディオライト機能をON / OFFします。
VOX	ON/OFF	VOX機能をON / OFFします。
VOX 感度	レベル 00 (小) - 15 (大)	VOX感度を設定します。
自局情報	UC / 個別 ID / グループ ID	自局のUC、個別IDやグループIDを表示します。
無線機情報	周波数	現在の周波数を表示します。

リピート再生

相手の音声を自動で録音しています。通話内容を聞き逃した時などに、内容を確認することができます。

補足

- 録音可能な時間は合計約 60 秒（録音状況により異なります）で、録音中にこの時間が経過すると、録音は中止されます。
- 合計で 60 秒以内であれば 10 件まで録音可能です。



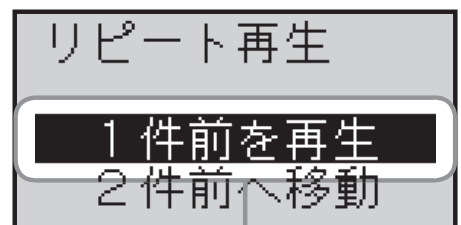
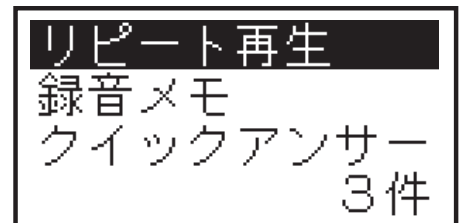
- 60 秒を超えて新たに録音を開始する場合は、古い件数の順から既に録音された内容に上書きされていきます。

- ① 待ち受け画面で を押す。
- ② “リピート再生” が選択されていることを確認し、ナビゲーションキーの中央を押す。
- ③ 録音件数が複数ある場合は、ナビゲーションキーの上側または下側を押して、再生したい件数を選択する。
- ④ ナビゲーションキーの中央を押す。
録音された内容を再生します。

補足

- 再生中にナビゲーションキーの中央を押すと、再生を中止します。
- 何も録音されていない場合は“録音無し”が表示されます。


- ⑤ を約 2 秒以上押す。
簡易リストを終了します。



録音件数を表示
1件前を再生とは、「1件目のリピートあり」を表す


録音メモ

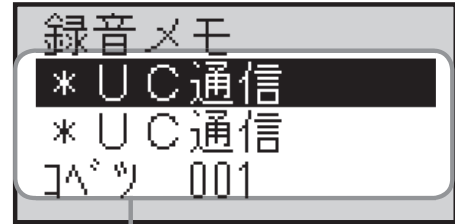
REC（録音）ボタン（27 ページ）を押して録音した相手の音声を再生 / 消去することができます。

- ① 待ち受け画面で  を押す。
- ② ナビゲーションキーの上側または下側を押す。
“録音メモ” を選択します。
- ③ ナビゲーションキーの中央を押す。
- ④ 録音件数が複数ある場合は、ナビゲーションキーの上側または下側を押して、再生したい相手局の録音インデックスを選択する。
- ⑤ ナビゲーションキーの中央を押す。
- ⑥ ナビゲーションキーの上側または下側を押して再生を選択する。

補足

- 再生中にナビゲーションキーの中央を押すと、再生を中止します。
- 何も録音されていない場合は“録音無し”が表示されます。

- ⑦  を約 2 秒以上押す。
簡易リストを終了します。



相手局の録音インデックスを表示



再生を選択

録音された内容を消去したい場合

手順⑥の後、以下の操作を行ってください。
ナビゲーションキーの下側を押して消去を選択する。




消去を選択

クイックアンサー

クイックアンサーは音声を発して応答できないようなシチュエーションのときに使用する機能です。例として「了解しました。後程応答します。」などを録音しておき、プログラマブルボタンを短く押すとメッセージが送信されます。

録音時間は20秒で、録音件数は1件です。


自局の音声によるメッセージを録音 / 再生 / 消去を行うことができます。

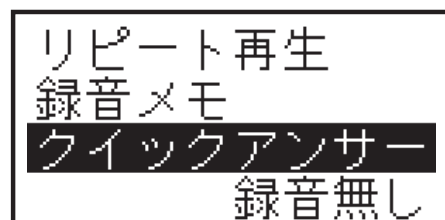
- ① 待ち受け画面で  を押す。
- ② ナビゲーションキーの上側または下側を押す。
“クイックアンサー” を選択します。

- ③ ナビゲーションキーの中央を押す。
録音を開始し、ディスプレイに“録音中”を表示します。

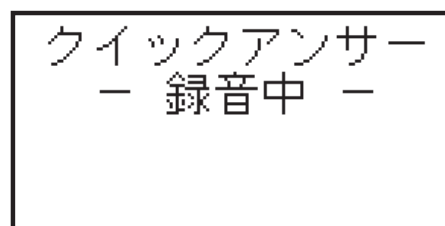
補足

- 録音中にナビゲーションキーの中央を押すと、録音を終了します。
- 何も録音されていない場合は“録音無し”が表示されます。

- ④  を約2秒以上押す。
簡易リストを終了します。



録音を押す



録音した内容を再生または消去したい場合



手順③の後、以下の操作を行ってください。
ナビゲーションキーの下側を押して再生または消去を選択します。

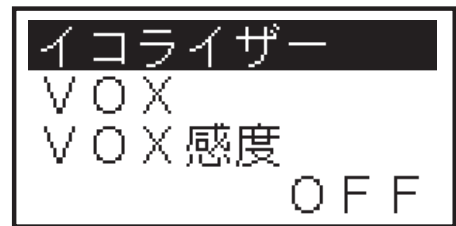


再生または消去を選択

イコライザー


受信音を好みの音質に変更することができます。

- ① 待ち受け画面で  を押す。
- ② ナビゲーションキーの上側または下側を押す。
“イコライザー” を選択します。
- ③ ナビゲーションキーの中央を押す。
- ④ ナビゲーションキーの上側または下側を押す。
OFF/
パターン 1 (低域強調) /
パターン 2 (高域強調) /
パターン 3 (中域強調) /
パターン 4 (低高域強調) /
パターン 5 (中高域強調) の音質を選択します。
- ⑤ ナビゲーションキーの中央を押す。
確定します。
- ⑥  を約 2 秒以上押す。
簡易リストを終了します。



ノイズキャンセル


周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信する「ノイズキャンセル機能」を ON/OFF することができます。

- ① 待ち受け画面で  を押す。
- ② ナビゲーションキーの上側または下側を押す。
“ノイズキャンセル” の表示にあわせませす。
- ③ ナビゲーションキーの中央を押す。
- ④ ナビゲーションキーの上側または下側を押す。
ON/OFF から選択します。



補足

ノイズキャンセル機能を“ON”にする際は、拡張機能(セットモード)の“F02 外部マイク”および“F03 内部マイク”の設定を“0dB”以下にしてください。

- ⑤ ナビゲーションキーの中央を押す。
確定します。
- ⑥  を約 2 秒以上押す。
簡易リストを終了します。